

## 2000年代の絵画～静岡ゆかりの作家による

## 第7展示室

2026年01月20日(火)～04月19日(日) 前期：01月20日(火)～03月15日(日) 後期：03月17日(火)～04月19日(日)

No.	作者	生歿年	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵	展示期間
1	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	ビアガーデン発	1995(平成7)	紙、アクリル	51.0×78.5	静岡県立美術館	前後期
2	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	飛べなくなった人	1996(平成8)	板、アクリル	103.0×145.6	静岡県立美術館	前期
3	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	燃料補給のような食事	1996(平成8)	板、アクリル	145.6×206.0	静岡県立美術館	前期
4	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	クラゲの夢	1997(平成9)	板、アクリル	103.0×145.6	静岡県立美術館	前後期
5	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	(無題6)	2001(平成13)頃	キャンヴァス、アクリル	130.0×162.0	静岡県立美術館	前後期
6	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	居酒屋発	1995(平成7)	紙、アクリル	51.0×78.5	静岡県立美術館	後期
7	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	(無題1)	1995(平成7)	紙、アクリル	72.8×103.0	静岡県立美術館	後期
8	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	兵士	1996(平成8)	板、アクリル	145.6×103.0	静岡県立美術館	後期
9	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	引き出し	1996(平成8)	キャンヴァス、アクリル	59.4×42.0	静岡県立美術館	後期
10	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	市場	1999(平成11)	板、アクリル	206.0×145.6	静岡県立美術館	後期
11	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	(無題3)	2000(平成12)頃	キャンヴァス、アクリル	130.0×162.0	静岡県立美術館	後期
12	石田徹也	1973-2005(昭和48-平成17)	(無題8)	2005(平成17)	キャンヴァス、アクリル、油彩	91.0×116.7	静岡県立美術館	後期
13	持塚三樹	1974(昭和49)-	Dusk approaches	2012(平成24)	キャンヴァス、油彩	218.5×333.5	静岡県立美術館	前後期
14	持塚三樹	1974(昭和49)-	Sand cloud(砂雲)	2025(令和7)	キャンヴァス、油彩	ø125.0	作家蔵	前期
15	持塚三樹	1974(昭和49)-	Untitled	2007(平成19)	紙、インク	24.0×95.0	静岡県立美術館	後期
16	持塚三樹	1974(昭和49)-	Vonto	2009(平成21)	キャンヴァス、アクリル	130.5×97.0	静岡県立美術館	後期
17	持塚三樹	1974(昭和49)-	LILL	2010(平成22)	キャンヴァス、アクリル、顔料、油彩	65.5×80.5	静岡県立美術館	後期
18	門田光雅	1980(昭和55)-	色彩のドローイング2	2014(平成26)	綿布、アクリル、カーボランダム	182.0×227.3	大石大成氏蔵	前期
19	門田光雅	1980(昭和55)-	camphor	2024(令和6)	綿布、アクリル、カーボランダム	194.3×162.0	株式会社 フライミー蔵	前期
20	門田光雅	1980(昭和55)-	錫女(うずめ)	2025(令和7)	綿布、アクリル、カーボランダム	145.7×89.6	作家蔵	前期
21	門田光雅	1980(昭和55)-	猿田彦	2025(令和7)	綿布、アクリル、カーボランダム	145.7×89.6	作家蔵	前期
22	大庭大介	1981(昭和56)-	RING	2016(平成28)	パネル、綿布、アクリル	180.0×180.0	静岡県立美術館	前後期
23	大庭大介	1981(昭和56)-	Daisuke OHBA	2023(令和5)	パネル、麻布、アクリル、ダイオブテー ズ顔料、水晶粉末	180.0×180.0	作家蔵	前期
24	大庭大介	1981(昭和56)-	M	2024(令和6)	パネル、麻布、アクリル	180.0×180.0	作家蔵	前期
25	大庭大介	1981(昭和56)-	M	2024(令和6)	パネル、麻布、アクリル、アルミパウ ダー、シルバーパウダー、	180.0×180.0	作家蔵	前期
26	大庭大介	1981(昭和56)-	LOG (Icefall)	2014(平成26)	綿布、アクリル	228.0×522.0	静岡県立美術館	後期
27	大庭大介	1981(昭和56)-	THE BATTLE STAGE	2016(平成28)	パネル、綿布、アクリル	180.0×180.0	静岡県立美術館	後期
28	大庭大介	1981(昭和56)-	ONE	2017(平成29)	パネル、綿布、アクリル、ガチョウの卵 の殻	120.0×120.0	静岡県立美術館	後期
29	小左誠一郎	1985(昭和60)-	百合	2023(令和5)	キャンヴァス、油彩	265.0×164.0	作家蔵	前期
30	小左誠一郎	1985(昭和60)-	百合	2026(令和8)	キャンヴァス、油彩	194.0×97.0	作家蔵	前期
31	小左誠一郎	1985(昭和60)-	百合	2026(令和8)	キャンヴァス、油彩	53.0×45.5	作家蔵	前期

## 名品コーナー(1階エントランス)

2026年01月20日(火)～04月19日(日) 前期：01月20日(火)～03月1日(日) 後期：03月3日(火)～04月19日(日)

No.	作者	生歿年	作品名	制作年	材質、技法	寸法(cm)	所蔵	
左	賛：田中大秀 絵：渡辺清	1777-1847(安永6-弘化4) 1778-1861(安永7-文久元)	清少納言故事図	江戸時代 18-19世紀	絹本着色	30.3×46.8	静岡県立美術館	前期
左	松林桂月	1876-1963(明治9-昭和38)	夜桜(春宵花影)	1920年代後半- 30年代前半(昭和初期)	絹本着色	57.5×71.2	個人蔵	後期
中	ジョルジュ・ ビゴー	1860-1927(万延元-昭和2)	富士(沼津江浦)	1885-1887 (明治18-20)頃	板、油彩	24.0×58.0	静岡県立美術館	前後期
右	丹羽勝次	1931-2025(昭和6-令和7)	箱シリーズ'68	1968(昭和43)	プリント合板、繩	148.5×92.0×5.0	静岡県立美術館	前後期

## 現代作家 丹羽勝次さん 追悼

袋井市（旧三川村）出身で静岡在住の現代作家丹羽勝次さんが、2025（令和7）年11月30日に94歳で逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈りします。

丹羽さんは、1956年静岡大学卒業後、静岡を拠点に作家活動を始め、美術評論家の石子順造との交流のなかで1966年に飯田昭二、鈴木慶則らと前衛グループ「幻触」を結成し、「トリックス・アンド・ヴィジョン」展への出品をはじめとして、1960年代末の日本の現代美術界の最前線で活動しました。

グループ解散後も、表現者として発表を続け、最近では丹羽勝次×丹羽菜々展「遠い空。近い空。」（東静岡アート＆スポーツ／ヒロバ）で屋外展示を行ななどしました。

当館では、企画展「グループ「幻触」と石子順造 1966-1971～時代を先駆けた冒険者たちの記録～」（2014〔平成26〕年2月1日～3月23日）を開催したほか、グループ「幻触」時代の作品2点を収蔵しています。

追悼の意を込めまして、2026年1月20日より当館エントランスの名品コーナーにて《箱シリーズ'68》を展示いたします。

事情により出品作品が変更になる場合があります。